

世 界 史

第 1 問

オーストリア＝ハンガリー帝国、オスマン帝国、ロシア帝国、清は、いずれも地続きに巨大な領域を支配した大陸国家である。これら4国は、版図を統合する強力な政治体制や軍事力をもつ一方で、脆弱性も抱えており、いずれも20世紀前半に大きな変容を迫られた。その際、それぞれがたどった過程や結果には、いくつかの共通点と相違点があった。以上のことを踏まえて、以下の2つの設問に答えよ。解答は、解答欄(イ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)(2)の番号を付して記せ。

問(1) 共通の課題を抱えていた4つの大陸国家は、1910年代から1920年代にかけて後継国家に移行していく。その際に、支配領域や民族別人口構成の面で、大きな変化があった場合とそうでない場合があった。これらの点に着目して、4つの大陸国家の変容を、2つの類型に分けて、12行以内で記述せよ。その際、以下の4つの語句を必ず一度は用い、その語句に下線を付すこと。

国民統合 チベット ドイツ人 連邦制

問(2) これらの大陸国家の変容に際して、国際社会では新たな原則が提唱され、大きな影響を与えた。その原則と、原則の適用をめぐる事情について論じた上で、オーストリア＝ハンガリー帝国とオスマン帝国における事例について、8行以内で記述せよ。その際、以下の4つの語句を必ず一度は用い、その語句に下線を付すこと。

委任統治 ウィルソン チェコスロヴァキア 平和に関する布告

第 2 問

人類史上、各時代・地域の外交は、それぞれ独自の歴史的背景と条件の下で展開し、それが新たな歴史的条件をもたらすことにもなった。このことに関連する以下の設問(1)～(3)に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記せ。

問(1) 南アジアでは、他地域の支配者の要請によりなされた宗教施設の建立や、それら宗教施設への土地などの寄進を記録した刻文から、他地域との外交関係を読み取ることができる。インドのナーランダー遺跡で発見された、9世紀前半にインド東部を支配したパーラ朝の王デーヴァパーラの銅板刻文もその1つである。この刻文を抜粋した次の資料1(内容を一部省略・改変している)を読み、このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

資料1

スマトラ島の主であるシャイレンドラ朝の大王バーラプトラデーヴァから、私(デーヴァパーラ)は次のように知らされた。「私(大王バーラプトラデーヴァ)は、ナーランダー大僧院の中に僧院を建立いたしました」。そこで、大王が建てたこの僧院において、ブッダと経典と菩薩に対して供物を捧げるために、出家修行者たちの共同体に対して必要物を提供するために、ブッダの教えを書写するために、また、僧院の破損箇所を修理するために、私(デーヴァパーラ)は村々を寄進した。

(a) 資料1に見られる両王朝の関係は、東南アジアへの仏教の拡大を背景としている。当時東南アジアに広まっていた仏教の名称と特徴、および関連する遺跡について、2行以内で記せ。

(b) 資料 1 に登場する両王朝は、マレー半島とスマトラ島に挟まれたマラッカ海峡を通る海上交易路により交流していた。7 世紀から 8 世紀にかけてこの交易路を支配して繁栄した王国の名称を記せ。

(c) 資料 1 の下線部に関連して、7 世紀にこの大僧院で学んだ中国の仏教僧の名前を挙げ、その事績について、2 行以内で記せ。

問(2) 次の図 1 は、1932 年に完成した道路を示したものである。この道路は、ある現代国家の政権中枢が置かれていた建物(丸で囲った箇所)と手前の古代遺跡とを直線的に結んでおり、他国の外交団を迎えた時の軍事パレードや、重要な政治集会が催される場として機能した。この道路の傍らには、ある古代国家の版図の時間的変遷を示す大理石製の地図が 4 枚張りだされたが、図 2・図 3 はそのうちの 2 枚である。道路の左右には古代の広場の遺構が広がっており、そのうちの 2 つの広場は、図 2・図 3 が示すそれぞれの時期に古代国家の最高権力者だった人物によって造られたものである。さらに 1936 年には、その現代国家の威信を示すために、その時新たに獲得した領土を示す 5 枚目の地図も加えられた。

以上のことを踏まえ、以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) 道路が完成してから 1937 年に至るまでの、この現代国家がとった対外政策と、それに伴う国際的な政治環境の変遷について、3 行以内で記せ。

(b) 上記の文章と図 1～図 3 を踏まえると、この現代国家は古代国家のどのような側面を強調しようとしていたと考えられるだろうか。古代国家の最高権力者の名前も挙げながら、3 行以内で記せ。

图 1

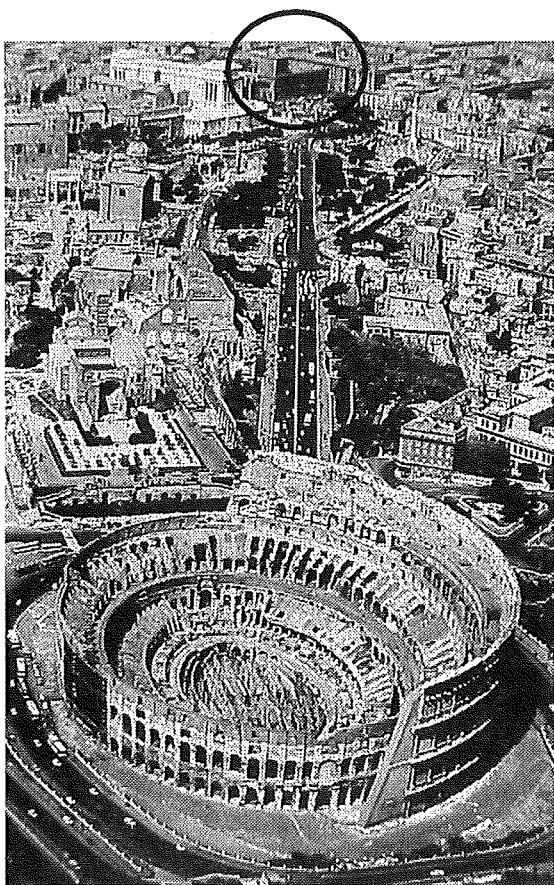


图 2

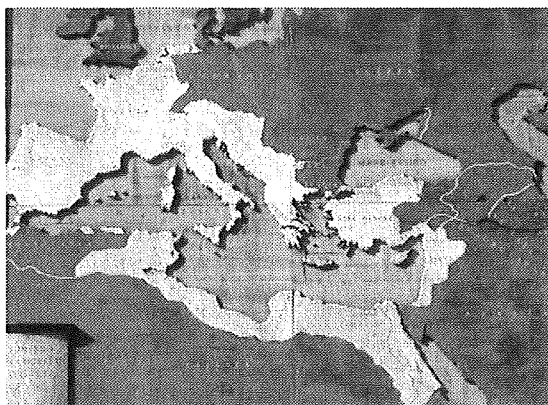
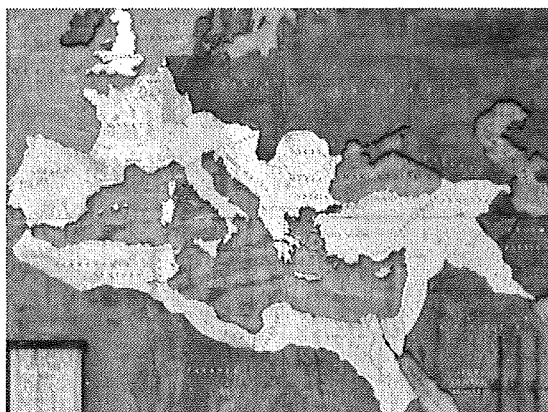


图 3



問(3) 冷戦期においては、外交が国際関係の緊張緩和に重大な意味をもった。これに関し、以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

- (a) 次の資料2は、ある危機の解決を目指して行われた大国間外交の一局面を示す文書である。この危機の発端となった1959年に起きたある出来事の概要と、危機に至るまでの経緯について、4行以内で記せ。

資料2

私は以下の提案を行います。我々はキューバからあなた方が攻撃用と称している兵器を撤去します。我々はこの任務を行いますし、そのことを国際連合の場で誓約します。あなた方のほうでは、ソヴィエト連邦が感じている不安や懸念に鑑みて、トルコから同様の兵器を撤去するという宣言を行うことになるでしょう。

- (b) 冷戦期には、第三世界と呼ばれる地域で紛争がくり返された。(a)で述べた危機に関係した3国も、1975年に独立したアンゴラの内戦に介入した。アンゴラについて、その旧宗主国の名称を記せ。

第 3 問

歴史のなかで都市は、政治や経済あるいは軍事の中心地となっただけでなく、文化の融合や発信の基地としても機能した。このことに関連する以下の設問(1)～(10)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(10)の番号を付して記せ。

問(1) 次の資料 1 は、宋代に都として栄えた都市について述べた回想録の一部分である(内容は一部省略・改変している)。資料中の下線部①の都市の名称と下線部②の河川の名称、および下線部③の地域の名称の組合せとして正しいものを、後のア～カのうちから 1 つ選び、その記号を記せ。

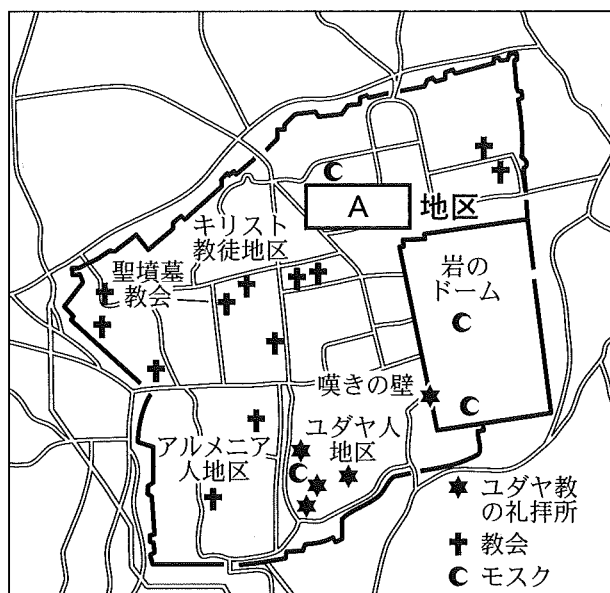
資料 1

かつての都の城内には四つの河道があり、中央の河を汴河^{べん}といった。汴河は、西の洛陽^①とは河川を介してつながり、東のほうでは淮河につながり、東南^②の食糧を運びこんだ。東南から送られる物資はほぼこのルートで都に運ばれ、為政者も庶民もその供給に頼って暮らした。東の水門の外には虹橋があった。その橋には柱がなく、巨木でもってアーチを組み、朱色で飾ってあって、あたかも河に虹がかかっているかのようであった。

- ア ①開封 ― ②長江 ― ③山東
- イ ①開封 ― ②黄河 ― ③山東
- ウ ①開封 ― ②黄河 ― ③江南
- エ ①臨安 ― ②長江 ― ③山東
- オ ①臨安 ― ②長江 ― ③江南
- カ ①臨安 ― ②黄河 ― ③江南

問③ 資料 1 に見られる都市の繁栄は、宋代に新たな庶民文化を生み出した。文芸においては、それまでの詩とは異なり、楽曲に合わせてうたう、新しいジャンルの文芸が流行した。この文芸の名称を記せ。

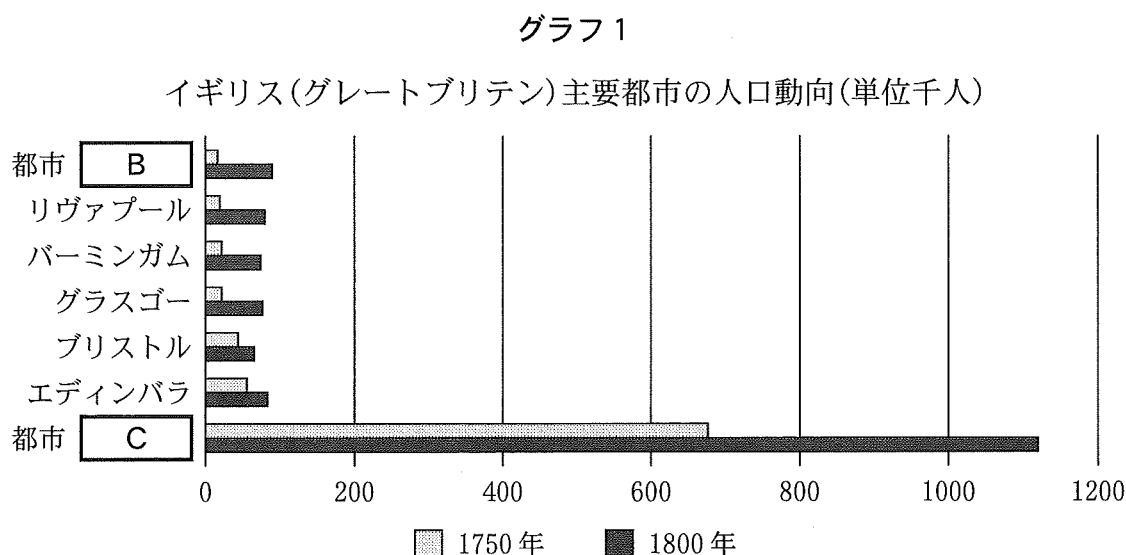
图 1



問(6) 図 1 に関連して、聖地回復を目指した十字軍時代に活発に活動したキリスト教の騎士修道会(宗教騎士団)の名称を 1 つ記せ。

問(7) 1993年に、パレスティナ暫定自治協定(パレスティナの暫定自治に関する原則宣言)をオスロで調印したイスラエルの首相とパレスティナ解放機構(PLO)の議長の名前を、この順序で記せ。

問(8) 次のグラフ1は、1750年および1800年のイギリス(グレートブリテン)における都市の人口上位7位までの動向を示したものである。すべての都市で人口が増えているが、特に都市 **B** は、この時代のイギリス社会に起こっていた大きな変化を反映して、人口が大幅に増加している。この都市の名称を記せ。



問(9) グラフ1の都市 **C** は、1850年前後には人口が約270万人に達し、世界最大級の都市となっていた。この時期に都市 **C** で開かれ、イギリスの繁栄ぶりを内外に示した国際的な催しの名称を記せ。

問(10) 18世紀後半から19世紀前半にかけてのイギリスでは、経済が急速に成長した一方で、苦境に立たされて、暴動を起こしたり犯罪に手を染めたりする人々も出た。グラフ1の時期に囚人の流刑植民地として発足し、後にイギリス連邦の一員となった国の名称を記せ。